

## BB国債価格（引値）算出方針（改定後・抜粋）

日本相互証券株式会社

### 第2章 算出方法

#### 4. 10年物価連動国債

10年物価連動国債（含むWI銘柄）は、日中における出来値及び午後3時時点の取引情報に基づき、次の手順で算出します。

##### （1）BEIの計算

###### ① 前日BEI

- ・「前日のペア債の決定値（複利）－前日の物価連動国債の引値から求めた複利」を求め、当該計算結果を「前日BEI」とします。

###### ② 出来時BEI

- ・「物価連動国債の最終取引成立時点におけるペア債の複利－物価連動国債の最終出来値から求めた複利」を求め、当該計算結果を「出来時BEI」とします。

###### ③ 売気配BEI及び買気配BEI

- ・当日のペア債決定値（複利）と午後3時時点の売買気配から求めた複利より、「売気配BEI」及び「買気配BEI」をそれぞれ求めます。

※ 原則として、ペア債とは、物価連動国債と同月に入札が実施された10年国債を指します。

##### （2）適用BEIの決定

前日BEI、出来時BEI並びに売気配BEI及び買気配BEIに基づき、原則として下表の優先順位で「適用するBEI」を決定します。

	出来値・気配の有無	適用するBEI (%)
①	出来値がある銘柄	出来時BEIを適用する。 ただし、売気配BEIの範囲内で決定する。
②	出来値はないが、午後3時時点に気配がある銘柄	①により決定した他の銘柄のBEI前日比を求め、当該銘柄の前日BEIに適用する。ただし、売気配BEIの範囲内で決定する。（※1～3）

③	出来値がなく、午後3時時点に気配もない銘柄	①により決定した他の銘柄のBEI前日比を求め、当該銘柄の前日BEIに適用する。(※1～3)
---	-----------------------	---

- ※1：①の銘柄が複数あった場合は、当該銘柄と残存期間が最も近い銘柄のうち残存期間が長い方の銘柄を採用します。また、残存期間3年超の銘柄の適用BEI決定にあたり残存期間3年以下の銘柄は採用しません。
- ※2：②において、全ての銘柄に出来値がない場合は、前日BEIと売買気配BEIを比較して決定します。また、当該銘柄の売買気配BEIが適用される場合は、当該銘柄を①の銘柄に準ずる扱いとし、他の②及び③の銘柄の決定に適用します。
- ※3：全ての銘柄に出来値がなく、午後3時時点に気配もない場合は、前日BEIを適用します。
- ※4：新発債入札日において、落札結果発表後に出来値がない場合は、午前11時05分時点のペア債の複利と財務省が公表する募入最低価格より算出した値を出来時BEIとして扱います。

### (3) 引値の算出

「当日のペア債の決定値（複利）－適用するBEI」を計算し、当該結果を単価にしたものを当日の引値とします。WI銘柄は当該結果の複利を当日の引値とします。

- ※ 日中の相場変動等により、上記の方法により算出した引値の前日比が周辺の銘柄と比べて著しく乖離した場合、当該銘柄の売買気配の範囲内において周辺銘柄の取引情報を適用して当該銘柄の引値を算出することがあります。

(2021年12月改定、2022年●月実施)